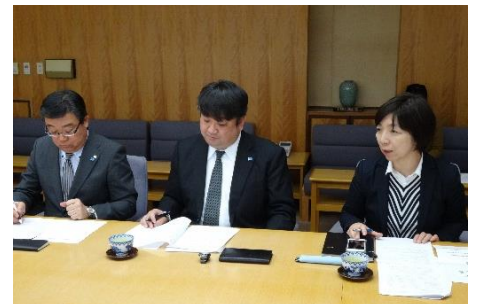


秋田県へ春闘要請を展開！



3月13日（火）秋田県へ2018春季生活闘争に関わる要請行動を展開した。連合秋田では、すべての働く者の「底上げ・底支え」「格差是正」に向けて、春季生活闘争の労働条件改善の取り組みとともに運動の両輪として「政策・制度実現の取り組み」を推進している。今次生活闘争では、経済の好循環に向けた産業政策と雇用政策の一体的推進、最低賃金、働く者のための「働き方改革」実現、男女平等参画社会実現、ワークルールの取り組み、学校における働き方改革など、6項目21点の要請書を手交し、4月末まで回答を求めた。



当日は、連合秋田・黒崎 保樹会長、小川 純政策局長、櫻田 憂子副会長、藤井 真悟事務局長、副事務局長3名が出席した。黒崎会長のあいさつの後、藤井事務局長が要請内容全体を、櫻田副会長が学校における働き方改革について説明した。その後、佐竹 敬久秋田県知事から要請に対する見解・意見交換を行った。

【黒崎 保樹会長】

「人口減少への対応については喫緊の課題であり、その中でも『働き方改革』が社会全体の課題であると認識されている。2018春季生活闘争においては、秋田県の『経済の自律的成長』『社会の持続性』を実現するためにも、すべての働く者の『底上げ・底支え』『格差是正』による継続した所得の向上を実現し、将来不安を払拭することが必要となる。連合では『働くことを軸とする安心社会』の実現に向けて取り組みを展開している。要請内容についてご理解を賜り、県の立場からご支援をいただきたい。」

【佐竹 敬久知事】

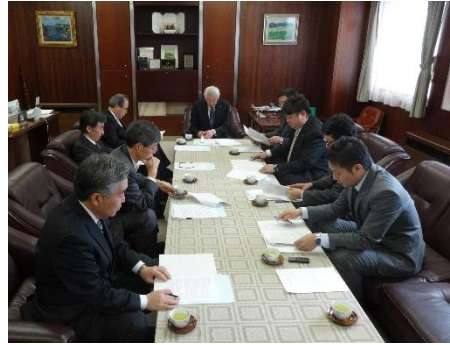
「連合秋田の要請事項については、秋田県として目指す方向性と相違はなく、根底にある考え方と同じである。秋田県が進める『第3期ふるさと秋田元気創造プラン』においても、働く人の賃金の上昇、福利厚生充実なくして超少子高齢化・人口減少への対応は難しいと考えている。働き方改革を含めて全体的な意識として、中央との格差是正、企業においては生産性の向上・再分配を支援して行く。今後さらに、県としても働きやすい職場づくりに力を入れて取り組んでいきたい。」

秋田労働局、経済五団体に春闘要請！

3月12日（月）秋田労働局へ2018春季生活闘争に関わる要請行動を展開した。要請では、労働局の監督・機能強化、雇用の安定・創出、公正労働基準の確立、最低賃金、特定最低賃金の改正、行政指導の強化、働く者のための「働き方改革」実現、男女平等参画社会実現など5項目26点の要請書を手交し、諸要請事項への対応を求めた。



同日、秋田県経済五団体（秋田県商工会議所連合会、秋田県商工会連合会、秋田県中小企業団体中央会、秋田経済同友会、秋田県経営者協会）へ2018春季生活闘争に関わる要請行動を展開した。要請では、労働条件改善、最低賃金、働く者のための「働き方改革」実現、雇用・公正労働条件の確保、男女平等参画社会実現、ワークルールの取り組み、集团的労使関係の構築など7項目20点の要請書を手交し、諸要請事項への対応を求めた。



県内要求状況速報第1弾！

3月16日現在73組合より要求提出の報告！

（前年同時期比+30組合）

要求額9,180円（加重平均）

（前年同時期比+776円）

秋田県のヤマ場を意識した情報開示を！



第89回秋田県メーデー会場決定！

平成30年4月28日（土）9:30～エリアなかいち・にぎわい広場他

**平和・人権を守り、
あらゆる差別をなくそう！
働く者のための働き方改革をすすめ、
すべての仲間と結集しよう！（メーデースローガン）**

